

# うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 89



悠久の歴史に抱かれた  
文化財と出逢うひと時

河内長野市は南は和歌山県と接し、大阪市内から電車で30分余り、自然が豊かで歴史とも深く関わりのある街です。

**別名「女人高野」として知られる金剛寺**

天野山金剛寺は奈良時代、行基によって開かれ、平安時代には空海が修行した聖地といわれています。その後、400年の間に寺は荒廃しますが、「女人高野」として復活をとげ、南北朝時代には南朝と深く関わりをもち、また、豊臣秀吉や多くの大名に愛された僧房酒「天野



日本最古の金剛寺の多宝塔

酒」が寺の経済を潤しました。

**南朝ゆかりの観心寺  
金堂などが国宝に指定**



映画「鬼ガール!」のロケ地にもなった観心寺。ロケ地巡りでもどうですか？

槍尾山観心寺は飛鳥時代、役小角（えんのおづぬ）を開祖とし、後に空海が観心寺と改称、弟子の実恵が寺の造営にあたりました。この寺は後醍醐天皇の信任厚く、楠木正成を奉行として金堂の建立にあたりました。また正成の発願による三重塔を建立の途中、自身が湊川の戦で亡くなったため、一重の塔（建掛塔）として残されています。そして、正成の首塚も境内にあります。これらの寺では、金剛寺の大如来像や観心寺の金堂など、数多くの国宝や重要文化財を所有しており、一見の価値があります。

## 1616年がえいが



## 「RBG 最強の85才」 「ビリーブ 未来への大逆転」

### アメリカ最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバークを描いた2作品

9月に87歳で亡くなったアメリカの最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバークを描いた2作品（2019年春に大阪で公開）を紹介します。

一つは劇映画「ビリーブ 未来への大逆転」。1956年、アメリカ社会での男女差別が厳しかった時代、貧しいユダヤ人家庭に育ったルースは名門ハーバード法科大学院に入学します。苦手な家事・育児は夫マーティンの全面的な協力を得て勉学に専念し、大学を首席で卒業しますが、女だというだけで雇ってもらえない法律事務所はなく、弁護士の夢を持ちながらも大学教授として働き始めました。ある日、独身男性だからという理由で実母の介護控除が受けられないという判例を知って、性差によって法律上の扱いが異なるのは憲法違反だと主張、法廷で闘うこと

を決意します。彼女が、法律に潜む女性差別に次々と切り込んでいく第一歩でした。

もう一本の「RBG 最強の85才」は、85歳にして現役で活躍するルースを描いたドキュメンタリー作品。1993年、ルースはクリントン大統領に最高裁判事に指名されました。判事就任後、女性やマイノリティの権利を大きく前進させたルースは「RBG」の愛称で若者を中心に絶大な支持を得、Tシャツやマグカップなどグッズも登場するほど。小柄で、物静かな語り口ながら、鋭く反対意見を述べるルースですが、その意外な一面を家族、友人、同僚が語ってくれます。中でも彼女を支え続けた夫マーティンの存在が光っています。RBGが歩んだ道のりとその業績をたどってみませんか。

## Culture Navi かるちがーナび

作りませんか  
給食の  
人気  
メニュー  
ちゃんこ  
交野市職労 国武 裕次さん  
協力：現業評議会・給食部会

お鍋の季節 寒い夜に  
ほっこり温まりませんか

- 材料（4人分）  
■鶏団子80g、豚バラ薄切肉100g、キャベツ160g、にんじん40g、小松菜40g、えのきたけ20g、土しょうが1.6g、ささがきごぼう60g、削り節4g、水120g、菜種油0.8g、調味料（酒4g、みりん8g、淡口しょうゆ6g、濃口しょうゆ6g）
- 作り方  
①豚バラ薄切肉とえのきたけは30ミリ幅に、キャベツと小松菜は15ミリ幅に切る。  
②にんじんは5ミリ幅のいちょう切りに、土しょうがはみじん切りにする。  
③削り節で出汁を取っておく。  
④菜種油を熱し、豚肉を炒める。  
⑤にんじんを加え軽く炒め、出汁を加える。  
⑥ごぼう・えのきたけ・鶏団子を加え、煮込んだ後、キャベツを加える。  
⑦調味料で味付けをし、土しょうが・小松菜を加えて煮て、でき上がり。  
しょうがの風味豊かな、醤油ベースでさっぱりとした味わいです。その日の気分にあわせて、お家にある野菜・お好みの具材で作ってみてくださいね。

## 心に響くこのひとこと

最大の悲劇は、悪人の暴力ではなく  
善人の沈黙である  
沈黙は、暴力の陰に隠れた同罪者である  
マーティン・ルーサー・キング・Jr  
(1929年～1968年)

人種差別とたたかった公民権運動の指導者として有名です。キング牧師と言われています。悪政が横行し、多くの人が反対運動を展開する中でも、選挙で投票に行かない人が多くいます。結果的に政権が多数になり悪政が続けられることに。政治だけに限りませんが、声をあげなければならぬときには声をあげる、行動することが大事。自分は善人のつもりでも、悪人に加担していることに…。

今月の  
記念日  
勤労感謝の日  
11月23日

国民の祝日に関する法律では、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日」とさだめられています。もともと11月23日は「新嘗祭（にいなめさい）」という宮中行事でした。それが戦後（1948年）に、「勤労感謝の日」とあらためられました。11月23日は、毎日の食卓に感謝をしつつ、周りの人たちとも、日々のかんばりをお互いに感謝する日。そう考えると、「勤労感謝の日」も素敵な祝日に思えてきます。そうしてリフレッシュした後、仕事に対する気持ちも新たに忙しい年末を乗り越えていきましょう。